資料１

１　英語教育の推進について

新学習指導要領より（小学校外国語活動および外国語）

＜目　標＞

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すこと、（書くこと‥5･6年生の目標）の言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することを目指す。

北斗市教育大綱（改正）平成３０年度から令和３年度より外国語関連を抜粋

基本方針

１ 社会で活きる教育活動の推進

施策１ 確かな学力を育む教育の推進

○ 国際化に対応した人材を育成するため、英語教育を推進する。

４ 子どもたちが安心して学べる教育環境整備・充実の推進

施策１１ 小規模化が進む公立学校の魅力ある教育活動の推進

○ 教育水準を維持する観点から、特認校制度の充実を図るとともに「英語教育」、「国際理解教育」や地域の自然環境、資源を生かした特色ある教育活動など、魅力ある学校づくりを推進する。

↓（北斗市教育大綱、学習指導要領を受けて）

北斗市の外国語活動の方向性

外国語（英語）に対する体験的な学習をとおし、多様な文化や他者に配慮しながら、主体的に外国語（英語）を用いてコミュニケーションを図ろうとする児童生徒を育てる。

１　北斗市の現状

平成２９年度から、小学校において外国語活動（3・4年生)、外国語（5・6年生）の指導を開始した。これに伴い、北斗市には英語指導助手（ＡＬＴ）が配置されている。

ＡＬＴの補助指導は、小学校の外国語指導において重要な部分を占めており、小学生の英語に関する「聞くこと」「読むこと」「話すこと」の向上には欠かせない存在である。

２ ＡＬＴによる指導の役割･･･「教室という空間に外国語を話す人がいることのメリット」

⑴ 英語が生きた言語であることを、児童生徒(および教師)に示すことができる。

⇒正しい発音、生きた英語、諸外国の文化

⑵ 児童生徒に、英語を母語とする人々と英語による実践的コミュニケーションの機会を多く与えることができる。⇒英語表現の豊かさと柔軟性、豊かな表情

⑶ 英語の学習は楽しいものであることを示すことができる。
⇒児童生徒の学習意欲を向上させる存在
⑷ 児童生徒の、外国人や英語に対する心理的な抵抗感を取り除く手助けとなる。
⇒グローバルな視点の育成

3　ＡＬＴ配置による児童生徒への期待される効果
⑴ 「外国語・英語」の授業が楽しいと感じることができる。
⑵ 多様なコミュニケーションをとおし、中学校英語に向けた素地を作ることができる。
⑶ 中学校段階(または小学校)における、実用英語検定の受検率が向上する。
⑷ 諸外国に視野を広げ、将来は英語に関連する職業に興味や関心を持つことができる。

4　北斗市小学校、中学校における「外国語活動・外国語・英語」の目指すところ
⑴ ＡＬＴ来校時、授業の「振り返り」を設定し、「授業が分かった・楽しかった」の評価、９０％以上を目標値にする。（小学校）
⑵ 小学校高学年に対し、意識調査をとおし実用英語検定の受検を推奨する。（小学校5･6年生）
⑶ 中学校において、実用英語検定３級の受検率２０％を目標値とする。（中学校）
※平成２６年度全国調査では３年生で英語検定３級取得率１８．６％
（文科：英語力向上プランより）
※北斗市については１２％（平成３０年度 北斗市内中学校実用英語検定受検・合格率）
⑷ 中学校 3 年生における全国学力・学習状況調査の英語の正答率および質問紙における「英語の勉強は好き」の割合を全国平均以上にする。

外国語活動・英語・国際理解プロジェクトチームの取組

1　令和2年度教育課程編成の準備
⇒各学校で見直しを図り、作成に向けての準備を進める。

2　ALT等の効果的な人材活用の実践交流
⇒ALT配置による授業実践交流の推進。
　学校間交流会の推進。
⇒ALT配置による効果のまとめ（評価カード・アンケート等）。

3　外国語活動のコミュニケーション能力向上に向けた取り組み
⇒各学校におけるコミュニケーション活動実践交流の推進。
⇒オールイングリッシュの授業　・　EIGO day　等
⇒イングリッシュキャンプ参加促進・参加校の教職員協力を呼びかける。
　社会教育との連携。
⇒国際交流事業への参加。

4　実用英語検定受検率・取得率の向上
⇒昨年度の調査から、目標値を設定し、受検率UPを目指す。今年度の受検率・合格率調査の実施。
⇒小学校「Jr. 検定」についての情報収集。
　『楽しい』の実感。

年間推進計画

4・5月	授業実践交流計画作成（大まかな日程調整）
6～12月	授業実践交流会実施
11・12月	英検受験・合格率調査 教育課程編成に向けての準備
1・2月	国際理解・コミュニケーション活動等実践交流 教育課程編成に向けての準備・作成
2・3月	ALT配置による効果のまとめ・次年度ALT配置計画

※毎月教頭会において、進捗状況を確認し、校長会へ報告。